



学校だより 第9号

糸満市立三和中学校
校長 仲程 俊浩
令和6年12月16日発行
糸満市字真壁519番地
098-997-2104

《教育目標》

ふるさと三和を愛し 主体的に学び続け お互いを尊重し合う 心身ともに健やかな生徒

生徒会役員選挙

先日、令和7年度・三和中生のリーダーを決める「生徒会役員選挙」が行われました。それに先立ち、11月25日（月）～29日（金）朝7時50分～8時20分までの時間帯に正門付近で、立候補者による登校生徒への挨拶と投票呼びかけが行われました。

どの候補者も素晴らしい演説で、そして活発な選挙活動をしている姿は非常に凛々しく立派だったと伺っています。（残念なことに私（校長）は一週間連続かつ終日のオンライン研修と出張のため、いずれも見聞きする（立ち会う）ことができませんでした。何とタイミングの悪いことか・・・）

生徒会役員選挙に託されている意義とは何でしょうか。私は次のように考えます。

1、『三和中学校の伝統と文化を引継ぐ』です。本校は来年、創立78年目を迎えます。この長い歴史とこれまで培われてきた三和中学校の素晴らしい伝統と文化を引継ぎ、今後の学校生活に生かし、発展させていくということです。

2、『生徒会の一員として全生徒が自覚を高める』です。生徒会は生徒全員で構成される組織です。その自覚のもと、一人ひとりの生徒が意見を述べたり、積極的に生徒会活動に参加することが大切です。自分たちの考えやアイデア、関心事を生かし、企画・運営・

実行することが生徒会活動の柱となります。そのためには日頃の学校生活を疎かにせず、生徒一人ひとりがより良い学校づくりに関わる意識を持つことこそが生徒会の大きな推進力となります。

3、『先輩から後輩へ「思い」「願い」をつなぐ』です。私たち教職員は数年勤務すると他校へ異動となります。生徒の皆さんも3年経てば本校を去ることになります。しかし、三和中学校はずっと存続します。50年後、100年後もこの三和中学校の伝統や文化を学校全体で継承していかなければなりません。そのためには先輩から後輩へ、「思い」や「願い」をつないでいくことが大切です。

以下は新生徒会長の兼元紗奈さんの演説より一部抜粋したものです。

1日の多くを過ごす、この学校での時間が皆さんにとって有意義な時間となるよう、「生徒の意見に寄り添う」ことを第一に考え、三和中学校がより笑顔でキョウカンできるよう、全力で努力していきます！

生徒会は学校生活をより良くするために全校生徒の考えや思いをまとめ、学校に提案を意見具申していく組織です。生徒会を通して初めて自分たちの意見をまとめあげることができます。生徒自治は生徒の大切な権利。

「自分たちのため」の生徒会であることを自覚し、兼元さんに皆が協力し、期待し、「三和中学校の伝統」として受け継がれていく生徒会になることを私は楽しみにしています。